

5年	特に育成したい能力や態度 (具体的な数字や言葉で記載する) 2～3にしぼる。	授業改善の視点と具体的な方策 (具体的に達成すべき数値目標を記載する) 左側のものとリンク【対応させる】	達成率【割合】 A・・・90%以上の児童 B・・・90～80%の児童 C・・・80～70%の児童 D・・・70%以下の児童
国語	<p>①自分の考えをもち、相手や目的に応じて、ノートやプリント書いたものを読んだり、話したりしてできる。</p> <p>②語彙力・読解力の向上を目指す。</p>	<p>①自分の考えはあるが、表現することが難しいと感じる児童と自分の考えがない児童とが混在する。表現することが難しい児童へは、まずは短い言葉で表現させ、文章で書けるようにしていく。また、話型を参考にして書かせる。考えがない児童に関しては、友達の発表を聞き自分も同じ意見だと感じた時には友達の真似をして書かせる。【達成率80%】</p> <p>②国語辞典を廊下に常置し、授業内で意味調べの時間をとる。</p> <p>②継続的に読書を推進し、文章を読むことに慣れ親しむようにする。</p> <p>②図や資料を本文と関連付けて、読解させていく。【達成率80%】</p>	<p>(成果) 話型を参考にして文を書くことができる児童が増えてきた。また、友達の発表を聞き自分も同じ意見だと感じた時には友達の真似をして書くこともできるようになってきた。</p> <p>(課題) 図や資料を本文と関連付けて読解したり、継続的に読書をしたりすることがまだまだ必要である。</p>
理科	<p>①実験の予想をさせる際に、根拠が説明できるようにする。</p> <p>②実験から分かったこと、考察を自分の言葉で書けるようにする。</p>	<p>①児童の生活経験を基に、実験結果を予想させる。なぜそのような結果になるのか、理由や根拠を挙げさせる。予想を交流させることでモデルとして、いろいろな考え方や視点に気付けるようにする。【達成感80%】</p> <p>②考察の文型を示し、参考にして書けるようにする。次第に支援を減らし、自力で書けるようにスモールステップの指導をする。【達成感80%】</p>	<p>(成果) 実験結果を予想し、理由や根拠を言える児童が多くなってきた。考察の文型に当てはめて書けるようにもなってきた。</p> <p>(課題) 文型がなくても自力で書けたり、日常生活を振り返って書けるようになる必要がある。</p>

<p>社会</p>	<p>①学習内容・知識の確実な定着を目指す。 ②資料を的確に読み取り、活用できるようにする。</p>	<p>①写真やグラフなど教科書や資料集に載っている資料をテレビに映し、比較させる。また、変化や移り変わりを捉えさせる。【達成率80%】 ②写真やグラフの読み取りが苦手な児童が多い。どの資料を見ているのか、どのようなことが分かるのかなどを一緒に確認し、的確に読み取れるようにする。また、新聞作りにおいてどの資料を活用するのがよいかを考えさせる。【達成率80%】</p>	<p>(成果) 変化や移り変わりを捉えることができる児童が増えてきた。また、新聞作りにおいてどの資料を活用するのがよいかを考えることもできるようになってきた。 (課題) どのようなことが分かるのか、どんな気付きがあったのか、比較するとどうなのか、より深く考えられるようになる必要がある。</p>
<p>道徳</p>	<p>①教材を読み、登場人物の気持ちに共感できる。 ②学習内容を自分事として捉え、より良く生きようとする気持ちを育てる。 ③友達の意見を聞いて自分の考えを深める</p>	<p>①自分の経験と照らし合わせながら読ませる。【達成率80%】 ②自分が同じような状況、立場だったらどうするか、今後同じようなことが起きたらどうするかなど、自分事として思考できるような発問を工夫する。【達成率80%】 ③ペア・グループでの交流場面を多く取り入れる。【達成率80%】</p>	<p>(成果) 自分が同じような状況、立場だったらどうするか、今後同じようなことが起きたらどうするかなど、自分事として考えることができている児童が多い。 (課題) ペア・グループでの交流場面では、発言できない児童がいるため、考えを伝える大切さを理解する必要がある。</p>